

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332087	地域と子育て支援 Community's Role in Fostering Children	田村 佳世			2	選択	3後期

科目の概要

本科目は、地域と子育て家庭に対する支援の意義・目的および体制を理解し、地域の社会資源と保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の在り方を体系的に学ぶ科目である。子どもや保護者を受容的に理解し、子どもの育ちの喜びを共有する姿勢や、自己決定の尊重・秘密保持といった基本的態度を学ぶことは、他者を尊重し支える倫理観を育むものであり、DP (1) に示される「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践に対応する。また、家庭の状況に応じた支援方法、地域資源の活用、自治体や関係機関との連携体制を理解することは、保育士等に不可欠な専門的知識・技能の修得を目指すものであり、DP (3) に対応する。さらに、子育て支援施策や社会資源の構造を踏まえ、多様化する家庭のニーズや現代的課題を多角的に考察することは、社会人基礎力やPISA型学力、直観力を統合的に高めるものであり、DP (5) に対応する。本科目は、子どもと家庭を包括的に支える専門職として、自立的に判断し連携できる実践力の育成を目指す。

学修内容	到達目標
① 子ども家庭支援の意義・目的およびその社会的必要性を理解する。 ② 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本、子どもの育ちの喜びの共有、保育士に求められる基本的態度を理解する。 ③ 家庭の状況に応じた支援の在り方および地域資源の活用、自治体・関係機関との連携の方法を学修する。 ④ 子育て家庭を支える社会資源および子育て支援施策・次世代育成支援施策の体制を理解する。 ⑤ 保育所利用家庭、地域の子育て家庭、要保護児童等への支援の実際と現状・課題を理解する。	① 子ども家庭支援の意義と目的を説明できる。 ② 保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の基本と必要な態度について説明できる。 ③ 家庭の状況に応じた支援や関係機関との連携の在り方を具体的に説明できる。 ④ 子育て支援に関わる社会資源および施策の概要を説明できる。 ⑤ 多様な家庭支援の実際と現代的課題について、自らの見解を述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	大学での学びの主体が、自分であることを理解している。
	働きかけ力	
	実行力	授業内容が理解できないことがあっても、諦めず粘り強く最後まで学修に取り組んでいる。
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点を解決するうえで、効果的な解決策を発見している。
	計画力	
	創造力	課題を解決するために、今まで身に付けた知識・技能を最大限活用している。
チームで働く力	発信力	自分の主張したいことを相手に理解してもらえるよう、考えを整理して発信している。
	傾聴力	知識・技能をどのように活用して意見・考えが述べられているか、整理しながら聴いている。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	提出物は、期限に余裕をもって提出している。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト： なし。適宜資料を配布する。
 参考文献： 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」「子ども家庭支援論」で使用した教科書

他科目との関連、資格との関連

本科目は専門科目の幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目であり、「幼児教育指導法」「こどもと人間関係」「子どもの健康と安全」や保育関連科目と関連する科目である。
 資格との関連： 保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習学修を行い、積極的に講義に参加すること。 自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 課題等は期限を守って提出すること。メールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		50	①		✓	(獲得) 課題テーマに関する授業内容の理解 (20%) (活用) 課題テーマに関する発表内容の理解 (60%) (解決) 課題テーマに関する学びの活用に関する提案 (20%)
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	(獲得) 地域と子育て支援に関する基礎的知識の理解 (20%) (活用) 地域と子育て支援に関する具体的な方法理解と実践 (40%) (解決) 地域と子育て支援に関する実践の自己課題理解と改善提案 (40%)			
			②	✓				
			③	✓				
			④					
			⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性 大学での学びの主体が、自分であることを理解している。 実行力 授業内容が理解できないことがあっても、諦めず粘り強く最後まで学修に取り組んでいる。 課題発見力 自分の学修上の問題点を解決するうえで、効果的な解決策を発見している。 創造力 課題を解決するために、今まで身に付けた知識・技能を最大限活用している。 発信力 自分の主張したいことを相手に理解してもらえよう、考えを整理して発信している。 総合力 知識・技能をどのように活用して意見・考えが述べられているか、整理しながら聴いている。 規律性 提出物は、期限内余裕をもって提出している。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 <p>A (優)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 	<p>B (良)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 <p>C (可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 <p>その他：Dの再評価（再提出含む）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・「子ども家庭支援論」の復習 ・こども家庭庁について	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第1回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第1回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	現代の子育てをめぐる課題1 ・DVDを視聴し現代の子育てをめぐる課題について学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第2回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第2回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	現代の子育てをめぐる課題2 ・DVDを視聴し現代の子育てをめぐる課題について学びを共有する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第3回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第3回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	保育所等における子育て支援① ・保育所等の子育て支援のあり方を学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第4回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第4回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	地域における子育て支援① ・地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)について学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第5回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第5回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	地域における子育て支援② ・地域のニーズに応える支援内容について検討する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをもとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第6回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第6回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	地域における子育て支援③ ・子育て支援センターにおけるプログラム内容を考える	classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	発表に向けて子育て支援センターにおけるプログラム内容を考えることができる。 課題を期限までに提出できる。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第7回」を読み、課題に取り組む。 復習: classroomの授業資料「第7回」に沿って発表準備をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	地域における子育て支援④ ・子育て支援センターにおけるプログラム内容を発表する。	演習 発表 NotebookLM等を活用して、発表内容をまとめる。 classroom「課題」にてフィードバックを送信	発表準備ができていて、発表することができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第8回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第8回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	地域における子育て支援⑤ ・子育て支援センターにおけるプログラム内容の発表を踏まえた学びの共有をする。	演習 発表 classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第9回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第9回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	多様な子育て支援ニーズについて① ・発達支援、医療的ケア児などの具体的な支援方法について学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第10回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第10回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	多様な子育て支援ニーズについて② ・虐待、貧困、外国籍の子どもなどの具体的な支援方法について学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第11回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第11回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	地域の社会資源について① ・地域の子育て支援に関する社会資源について学修する。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第12回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第12回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	地域の社会資源について② ・身近な地域の子育て支援に関する社会資源について調べる。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第13回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第13回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	地域の社会資源について③ ・身近な地域の子育て支援に関する社会資源について発表する。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第14回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第14回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ ・保育士として求められる地域と子育て支援の方法について考える。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	授業内容を理解し、ノートをとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習: classroomの授業資料「第15回」を読み、写してくる。 復習: classroomの授業資料「第15回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力